

めざす子ども像

**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成****「確かな学力」と「豊かな心」を育むことを目指す**

取組目標

**学校が大好きで、ふるさとが大好きな都跡の子どもを育てる。****【今年度の取組紹介】**

・読書大好きな子どもたちを育てるために、今年度もこども園や小学校でボランティアによる読み聞かせを行いました。本好きの児童生徒が増える工夫として、修理に加え、小学校では司書の方にアドバイスをいただきながら蔵書の整理に取り組み、本が選びやすく、授業でも使いやすい図書室になるよう作業しています。

・地域の教育力を高めるために、自治会と協働して教育講演会を地域のふれあい会館で開催し、毎回コーディネーター会議に参加する公民館館長らとともに公民館主催の「みあとキッズチャレンジ隊」等の子育て活動に協力しました。この活動には、現在、地域の中学校を卒業した大学生たちがボランティアとして子どもたちの活動をサポートしています。

・家庭科授業の支援を、新たに中学校でも実施しました。現役保護者がメンバーとなったことで、ミシンや調理の実習見守りが行き届くようになりました。

**【今年度のまとめ】**

- ・昨年度ボランティアの再登録を行った結果、今年度の総人数は減少したものの、参加意欲の高い方たちの集まりとなり、中学校にも家庭科の支援を広げることができました。
- ・各校園の教職員との交流会を持ち続けてきたことで、先生方も好意的となり、子どもたちも積極的に環境作業等に参加するようになりました。

**【来年度に向けて】**

現在行っている広報活動の方法を工夫

- ・年に1度の広報紙のほかに、学期ごとに発行するボランティアの募集案内に、実施した活動報告を掲載します。参加者の人数や様子等を知らせることで、どの活動が人数不足なのかもわかり、次回の協力依頼や、参加してみようという意欲向上が見込まれます。
- ・年度初めに実施しているPR活動の各種団体数を増やします。各校園の保護者会等にも積極的にコーディネーターが出向くようにします。
- ・各校園教職員との交流会は定着しているが、その他に新着任の教職員との交流の場を別に持ち、都跡中学校区の協議会への理解を深めてもらいます。
- ・地域教育協議会で作成した四神をデザインした赤のTシャツを様々な活動で着用し、他団体にも働き掛け、色違いTシャツという目に見える形でも子どもたちを見守っていきたいです。

めざす子ども像 **やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成**

**「確かな学力」と「豊かな心」を育むことを目指す**

取組目標 **人を愛する心や学校・地域を愛する心を育てる。  
地域で育つ中学生として、地域の一員としての役割を担える子どもの育成。**

#### 【今年度の取組紹介】

今年度初めて行った事業は、家庭科の実習補助でした。これは、家庭科教員から地域のコーディネーター・ボランティアへ投げかけた支援でした。校区小学校で行っていた事業であったので、大きな混乱もなく「ミシン実習」と「調理実習」に複数参加していただきました。今までは教員1人で対応していたのが、複数の大人がいることで、授業がスムーズに進んでいき、また安全面の確保にもつながったと思えました。そして、生徒が活動する場面に関わっていただくことで、生徒自身またはその様子を聞いた保護者に、その活動の様子をHPで知っていただくことができました。そしてそれが今後のボランティア活動の参加につながればと思っています。



環境整備事業については、みあと農園の栽培活動をはじめとする栽培活動を通して、みあと学級生と地域の大人が接する機会が作れ、生徒にとって大事な体験の場となりました。また、部活動生やボランティア生徒を募集することで、活動を知ってもらうと同時に、地域に必要とされることを感じてくれたのではと思っています。



#### 【今年度のまとめ】

コーディネーター・ボランティアを中心とした数々の取組(ゴーヤのグリーンカーテンづくり、花壇での園芸、みあと農園での栽培活動、図書室の飾り付け、日々の環境整備作業など)をしていただいています。これらの取組を継続するとともに、生徒との協働する場面を作る工夫を考えました。

地域ができる支援と学校が必要としている支援をリンクさせるために、今年度はコーディネーターと教員の交流会で教員が必要としている支援を話す機会を持ちました。そのことで新しく始まった事業もあり、今後も続けていきたいです。

今年度は、中学校のHPに地域のページを作り、上記の取組等の様子をアップしました。そのことで、生徒・保護者に活動内容が見えるように工夫しました。

#### 【来年度に向けて】

生徒には、地域に貢献しているということを感じてほしいので、学校で活動しているという気持ちから、地域の活動に参加しているという気持ちに変えていきたいです。また、地域の方々の活動が学校、しいては自分たちのためだということを感じるように、生徒や保護者に見えるように活動を工夫していきたいです。また、ボランティアを増やすための取組を、中学校としてできることを考えていきたいです。

めざす子ども像

**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成****「確かな学力」と「豊かな心」を育むことを目指す**

取組目標

**世界遺産の地域****都跡で暮らし、都跡を学び、都跡を誇れる児童の育成**

## 【今年度の取組紹介】

## ○ 地域懇談会

管理職だけが地域との窓口になるのではなく、他の教職員と地域の方々の距離感を縮め、地域の方に教職員と意見交流を行うことを目的として今年度も「地域懇談会」を開催しました。「地域懇談会」では、小グループに分かれて懇談し、全教職員が地域の方々と親睦を深めることができました。



地域懇談会

また、今年度も校務分掌の中に「地域教育推進部」を設け、8名の教員を配置しました。「地域教育推進部」の担当者は運営委員会への参加や「地域懇談会」の企画、運営を行うことにより、学校と地域とのパイプ役として「学校の垣根」を低くする役割を果たしてくれています。

## ○ みあとありがとうフェスタ

栽培体験活動や昔の遊び・昔の暮らし体験学習、そして日々の見守り支援など、様々な場面でお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを込めて、今年も全校で「みあとありがとうフェスタ」を開催しました。当日は、各学年と全校による合奏・合唱を聴いていただきました。



みあとありがとうフェスタ

## 【今年度のまとめ】

- 地域の方々は、「子どものためなら」とか「子どもと一緒にいると元気をもらえる」と考え、様々な場面で学校に協力してくださっています。また、年々ボランティアを志望してくださる方も増えてきています。教職員や児童は、「絵本の読み聞かせ活動」などの学校行事を通してこのような地域の方々の温かい気持ちに実際に触れることで、地域の方々の思いを知ることができたと思います。こうした地域の方々と子どもたちが一緒に活動する場面が増え、教職員が打合せや学校行事を通して地域の方々とつながることが、「地域とともにある学校」として、学校と地域がともに子どもたちを育てていく推進力になっていると考えます。

## 【来年度に向けて】

- 今年度も「児童から地域の方々が見える」「教職員から地域の方々が見える」そんな関係づくりを進めることができました。来年度以降もこの歩みをより確かなものにするために、地域の方々と児童・教職員が触れ合い、つながる場面を確立・拡大していきたいと考えています。

めざす子ども像

**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成  
「確かな学力」と「豊かな心」を育むことを目指す**

取組目標

**みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園**

## 【今年度の取組紹介】

○ 感動体験事業では、平城宮跡や、唐招提寺へボランティアの方にも引率していただき、4・5歳児が園外保育へ出かけました。園児が平城宮跡で集めたドングリや、地域・保護者の協力で集めたドングリは、奈良の鹿愛護会に寄付しました。自分たちでできる方法を考え、奈良の鹿を守ろうとする気持ちを持ち、世界遺産を守ったり、役に立つ喜びを感じたりするようになりました。校区にある世界遺産や文化遺産に興味を持ち、自分たちが住んでいるこの街を身近に感じたり、大切にしたりする気持ちを育むことができました。



○ 環境整備事業では、地域の方や保護者の方と一緒に、園庭の「芝生の丘」に芝生とクローバーの種まきをしました。子どもが自ら遊びを創り出すことを大切に、遊び場づくりの充実に向け取り組みました。地域の方や保護者の方の協力を得てできたフサフサの芝生の丘では、思い切り体を使って遊ぶ体験を積み重ねることができ、園庭開放時には、お家の方と一緒に芝生の丘に登ったり、風を感じたり、景色をながめたりして、親子の語らいの場にもなりました。自分たちでつくった場所が、ひと・もの・ことと関わったり、つながったり、関係を広げたりする場として、活かすことができました。



## 【今年度のまとめ】

地域力を活かして、栽培活動・お話の会・園内の環境整備・感動体験・広報活動に取り組むことができました。たくさんの方との出会いを通して、人と関わる経験を積み重ねることができ、地域の方に温かく見守られ、感謝の気持ちや思いやりの心を育むことにつながりました。今年度は、5歳児を中心に、地域や保護者の方の協力を得て、芝生の丘づくりや、土づくりから始める野菜づくりや凧（凧）作り（収穫したトマト）パーティーの企画運営など、自分たちでできることを考え、進めることができました。地域や保護者の方に、活動の様子を見ていただき、園の教育・保育をさらに理解していただく機会となりました。

## 【来年度に向けて】

地域力を活かして、次年度も子どもたちにとって豊かな経験となるよう、活動を継続実施し、さらに地域と連携して計画を進めていきたいです。地域・園・保護者が『みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園』を目指していけるように教育・保育を見直し、充実させたいと思います。